

策定の趣旨

富山県特別支援教育将来構想は、特別な教育的支援が必要な子供や保護者を社会全体で支え、一人一人が輝き社会で活躍できるよう、富山県における特別支援教育が目指す姿とその実現に向けた取組について整理したものです。この将来構想は、概ね5年間で実現を目指すものとして策定しています。

策定に向けた検討

- ・「富山県特別支援将来構想検討会」における検討(委員14名、8月・11月・1月に開催)
- ・特別支援学校、小学校・中学校の特別支援学級や通級指導教室に通う子供たちからの意見聴取
- ・特別支援学校での学習活動や施設設備の現地視察

富山県の特別支援教育における現状と課題

富山県の現状

- ・特別な教育的支援が必要な子供の増加
- ・子供の障害の多様化
- ・ICT環境の変化や新型コロナウイルス感染症の蔓延など社会状況の変化



課題

- ・障害のある子供の学びの場の整備
- ・関係者の連携強化
- ・ICT等を活用した指導の充実
- ・就労支援の充実
- ・教員の専門性向上
- ・施設設備等、教育環境の整備

将来構想における6つの視点と「目指す姿」

I 共生社会の実現に向けた連続性のある多様な学びの場の整備

- ・共生社会の実現に向けた特別支援教育の理解啓発
- ・教育的ニーズに最も的確に応える多様な学びの場の整備・充実
- ・児童生徒等の状況に応じた、全ての学校での体制整備

IV ICTや専門家の活用等による指導の充実

- ・合理的配慮の提供や安全で効果的な指導の実施
- ・個別最適な学びのための指導や指導の計画・評価
- ・一人一人の障害の状態に応じた指導の実施

II 学校、家庭、地域、医療・福祉・保健・労働等の関係機関の連携強化

- ・関係者の支援情報の共有と連携した支援の充実
- ・就学前から卒業後までの適切な支援の引き継ぎ
- ・地域と連携した、キャリア教育や生涯学習の充実

V 企業と学校、家庭が一体となった就労支援

- ・希望や進路、社会状況を踏まえた教育課程・職業実習の改善
- ・多様な就労による、一人一人のやりがいと活躍の場の創出
- ・高等特別支援学校を中心とした、就労支援体制の充実

III 多様な教育的ニーズに対応できる教員の専門性向上

- ・教員の経験や役割に応じた、十分な専門性の担保
- ・専門家の活用による指導力の向上
- ・専門性向上のための、調査・研究や研修体制の充実

VI 特別支援学校の施設設備等、教育環境の整備

- ・安全・安心のための施設設備等の整備
- ・個別最適な学びのための施設設備の整備
- ・新しい技術の活用による指導の質と業務の効率の向上